#### (citation 17)

Japanese Utility Model Laying-Open Publication No. S62-160,373

Publication Date: October 12, 1987

Application No. S61-48,580 filed March 31, 1986

Inventor: Yoshiyuki MIZUMO et al. Applicant: Minolta Camera K.K.

Title of the device: Checker pin structure for flexible printed circuit board

(Claim)

A checker pin structure characterized in that a tip (1a) of the checker pin (7) for making contact with a surface of a flexible printed circuit board (A) is provided with a conductive elastic member (13) affixed thereto.

(Abridgment of the description)

Figs. 8 and 9 show prior art checker pin structures having a pointed (narrow) or toothed (broad) end for making contact with conductive circuit nodes 5a that are exposed on a flexible printed circuit board A. According to the claimed device, a conductive elastic member 13, such as a conductive rubber pad, is affixed to an end of a checker pin 7. As shown in Fig. 3, each checker pin 7 is received within a socket 12 arranged in a board 9 and is urged against an opposing circuit node 5a by a spring (not shown). By this structure, even if a checker pin 7 is not precisely aligned with a circuit node 5a, electrical contact can still be established through elastic deformation of the rubber pad 13. The rubber pad 13 may be affixed to the end of the checker pin 7 through a layer of conductive adhesive 26 and, optionally, through a metal layer 25.

日本面特件庁(JP)

①実用新案出顧公開

<sup>®</sup> 公開実用新案公報(U)

昭62-160373

Dint CI 4 G 01 R 1/067 // H 05 K

**美**別記号 庁内整理番号

6829-2G Z-6679-5F

❸公開 昭和62年(1987)10月12日

審查請求 未請求 (全 頁)

❷考案の名称 フレキシブルプリント基板用チェッカーピンの構造

> 砂実 昭61-48580

❷出 瞬 昭61(1986)3月31日

大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル

カメラ株式会社内

大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ピル ミノルタ

カメラ株式会社内

砂出 腹 ミノルタカメラ株式会

大阪市東区安土町2丁目30番地 大阪国際ビル



#### 明 和 書

#### 1. 考案の名称

フレキシブルプリント基板用チェッカーピンの 構造

- 2. 実用新案登録請求の範囲
- 1. フレキシブルプリント 基板 表面 に接触させる 先端 部に 導電性 弾性 部材を 固着 した ことを 特徴とするチェッカーピンの 構造。
- 3. 考案の詳細な説明

### **産業上の利用分野**

本考案は、フレキシブルブリント基板用チェッカーピンの構造に関する。

### 従来の技術

フレキシブルプリント基板における所定の銅箔バターン間の電気接続状態や絶縁状態等をチェックするために、第8図、第9図に示したようなチェッカーピンをもつチェッカーが従来から用いられている。第8図、第9図において、(A)はフレキシブルプリント基板で、ペースフィルム(4)上に絶



緑性接着剤(3)で接着された銅箔パターン(5)と、そ れに 重ねて 絶 緑 性 接 着 剤 (2)で 接 着 さ れ た カ バ ー レ イフィルム(1)とで構成されており、カバーレイフ ィルム(1)に形成した穴から銅筋パターン(5)の一部 分が露出している。以下この露出している銅箔部 部分を銅箔パターンの鰙出部(5a)と呼ぶ。この 路出部(5a)は使用に際して他の回路部品と接続 される場合と、チェッカーによるチェックのみに 用いられる場合とがあり、その周りには接着剤(2) が図示の如くはみ出して、絶縁性の接続不能部(6) を形成している。チェッカーピン(7)の先端は第8 凶の従来例では針状に細く形成されており、第9 図の従来例では広い凹凸面に形成されている。な お、チェッカーピン(7)の先端は Au, Rh, Ag など の高価な金属でメッキ処理し、酸化や腐食による 恐聞性の低下を防いでいる。

### 考案が解決しようとする問題点



1. 2 職と小さくなっている。チェッカ



このため、本考案は、露出部の径が小さくても 上述の如き問題を生じることなく露出部に対して

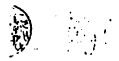
ピン(7)の先端面積を広くすれば良いかと言えばそ

うでもなく、この場合は露出部(5a)とカバーレ

イフィルム(1)との段差(普通約25μ程度)によっ

て、チェッカーピン(7)の路出部(5a)への接触が

妨げられ、やはり所望のチェックが行えなくなる。



電気接触させることができるチェッカーピンの構 造を提供することを目的としている。

### 問題点を解決するための手段

本考案はチェッカーピンの先端部に導電性弾性部材を固着することにより上記目的を達成した。 作 用

水岩窓のチェッカーピンは、その先端部に固着された単位性弾性部材の一部がカバーレイフィルムや接触不良部に当接することがあっても、その部分で弾性変形するため、銅箔パターンの露出部に残りの部分で良好に接触する。これにより、チェッカーピンは間接的に銅箔パターンの露出部に接触したことになる。

### 火 施 例

第1図乃至第3図は、本考案の一実施例を示している。企風製チェックピン(7)の先端面(7a)は、所定の大きさ、例えば銅箔パターンの路出部(5a)と略等しい大きさに形成されており、その先端面(7a)上に導電接着剤によりカーボンを含む導電ゴム(13)が問着されている。

第3図は、チェック装置を示しており、各チェックピン(7)、(7)、(7)は、支持板(9)に固定されたソケット(12)内に出入可能に支持されるとともに、不図示のはねにより突出方向に付勢され且つ、不図示のストッパにより所定の突出位置に止められている。各チェックピン(7)、(7)は、フレキシスクピン(7)と電気的に接続されるとともに、リード線(11)、(11)、(11)を介して不図示のチェックロ路に接続されている。一方、フレキシブルクロ路に接続されている。一方、フレキシブルクント基板(A)は、複数の第出部を有し、位置決めている。

第2図および第3図は、支持板(9)が台板(15) に対して所定位置まで移動して、各チェックピン(7)が、プリント基板(A)に押付けられた状態を示している。第2図及び第3図に示すように、露出部(5a)とチェックピン(7)の位置が互いに少しずれ



ている場合でも、将電ゴム(13)の先端が充分な 山積を有しているため、その将電ゴム(13)を介 してチェックピン(7)が露出部(5 a)に接触するこ とができる。そのような場合、導電ゴム(13)の 先端の一部はプリント 基板(A)のカバーレイフィル ム(I)や接続不良部(2 a)に乗り上げてしまうが、 その部分は弾性変形して、残りの部分が踏出部( 5 a)に確実に接触する。

第4図乃至第6図に示した本考案の変形実施例においては、チェッカーピン(7)に対する導電ゴム(23)の問着面に凹凸を形成してチェッカーピン(7)と導心ゴム(23)との固着面積を増すとともに、チェッカーピン(7)の長さ方向に直交する方向から導電ゴム(23)に力が加えられた場合でも導電がム(23)が離脱せずそれに充分に耐えられる構造にしている。このような構造を製作する方法例を第5図に示す。すなわち、第5図において(23)は複数の凹凸溝が繰返し配列形成された導ゴム枚、(25)はその凹凸に嵌合するよう凹凸(溝)が形成された金属板であり、両者は互に導電接着

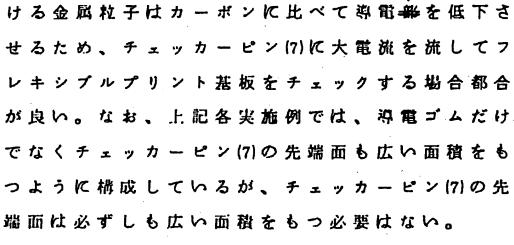


剤で固着されている。両者が互に固着された状態で、その金属板(25)の裏面にはシート状の導電接着剤(26)が貼着される。その後、導電ゴム板(23)および金属板(25)は、チェッカーピン(7)の先端として用いるに適した形状に共に打ち抜かれ、第6図に示す如く、各チェッカーピン(7)の先端而に導電接着剤(26)により接着される。

第7図は、羽電ゴム(27)における露出部(5a) との接触面に凹凸(27a)を形成し、導電ゴム(27) の弾性変形をより一層容易にした本考案のさらに 別の実施例を示している。



率



#### 考案の効果

4. 図面の簡単な説明





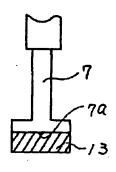
(A) … フレキシブルプリント基板、(7) … チェッカーピン、(13)、(23)(33) … 導電性弾性部材。

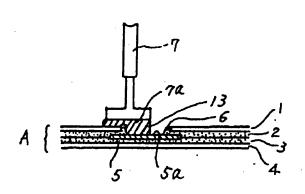
出駒人 ミノルタカメラ株式会社



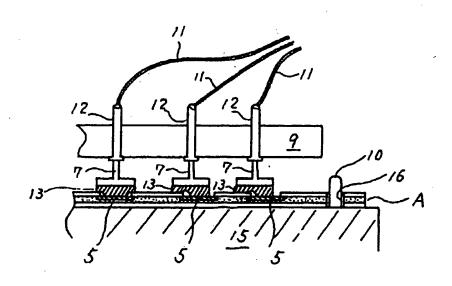
### 第 / 図





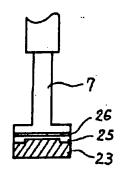


### 第3四

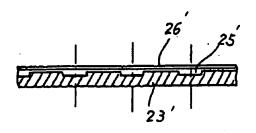


768 実際62-1 60 373

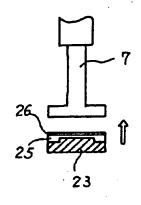
### 第 4 図



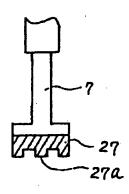
### 第 5 図



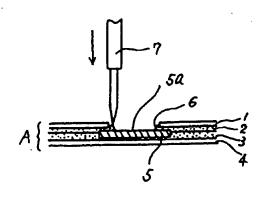
第 6 図



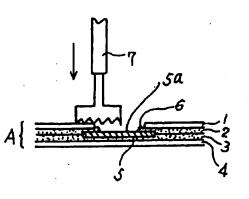
第 7 図



第 8 図



第9図



769 実現62-1 60373

THIS PAGE BLANK (USPTO)

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ other:

### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)